

## 学校部活動を地域移行していく上での課題

### 1 地域団体の確保

- 部活動地域移行には、受け皿となる運営団体・実施主体（総合型地域スポーツクラブ・文化芸術団体等）が必要となりますが、本市では運動部、文化部ともに、受け皿となる運営団体・実施主体が十分ではないため、新たな組織の立上げが必要となります。

### 2 指導者の質と量の確保

- 本市にも、独自に活動している団体は一定数ありますが、地域クラブ活動に献身的に従事することができる地域人材を確保することが困難な種目や地域があります。
- 地域クラブ活動での指導を希望する教員も貴重な人材の一部となりますが、昨年度に実施された教員対象調査では、指導継続を希望する教員は全体の約2割となっています。

### 3 活動場所の確保

- 現在、学校施設を使用して部活動を実施していますが、今後、学校管理者不在の下、校舎等の学校施設を使用する場合は、学校施設等の管理に係る規程等を策定する必要があります。
- 公共の運動・文化施設等を使用する場合は、会場使用料が必要となることから、新たな財政負担が生じることが見込まれます。

### 4 費用負担

- 地域クラブ活動の会費について、国が策定したガイドラインでは、活動の維持・運営に当たり、可能な限り低廉な会費を設定すると示されていますが、一定の質を有する人材を確保する場合は、相応の報酬が必要となることもあります。
- 経済的に困窮する家庭の生徒が地域クラブ活動に参加する場合は、参加費用等の財政支援を講じることが必要となります。